

## 推進事業の展開と体制

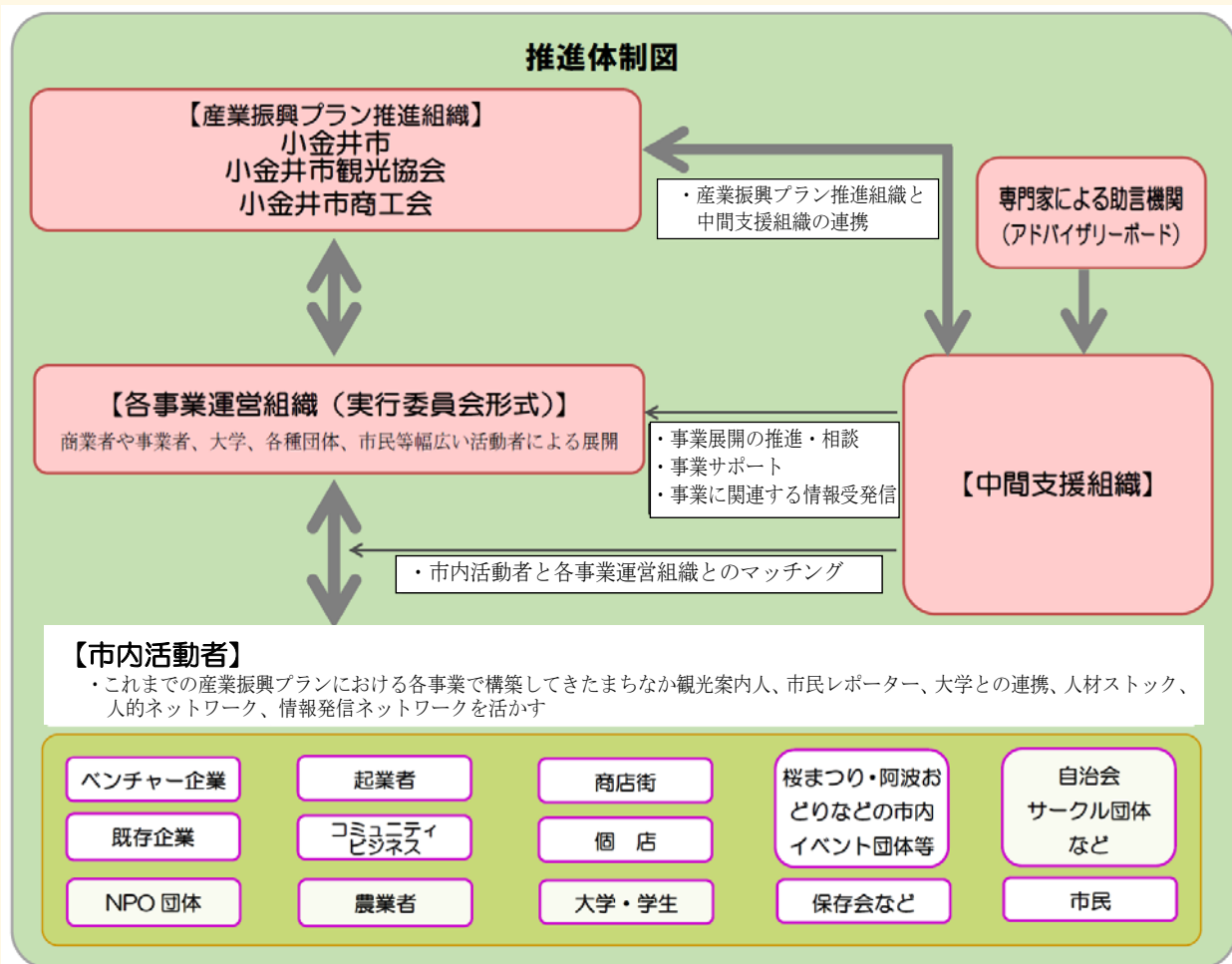
### (推進事業の展開)

- 今後は、推進目標に掲げた「①「地域資源の活用」と「滞在（時間消費）型サービスの普及」による産業の付加価値化」と「②「学びの場を通じた産業の担い手育成」と「生活都市にふさわしい産業の育成」の推進」に基づく事業は、早期着手、補助金の活用など適宜機会をとらえて実施するほか、市が単独で行うだけでなく、事業者、各種団体、大学、市民等、産業振興の担い手と連携し、創意工夫により展開を図ることとします。



### (推進事業の体制)

- 今後は、従来通り市、小金井市商工会、小金井市観光協会が連携して各施策や事業展開の推進・相談役を担うことはもちろんのこと、新たに小金井市観光協会に「人・もの・こと・事業のマッチング」、「情報受発信」などを担う機能を付加し、主題によって分野を問わず市内の活動主体が連携・運営する事業運営主体（実行委員会）の取り組みをサポートする仕組みを構築し、多様で豊かな市民力による産業振興の実現を目指します。



#### 中間支援組織の主な役割

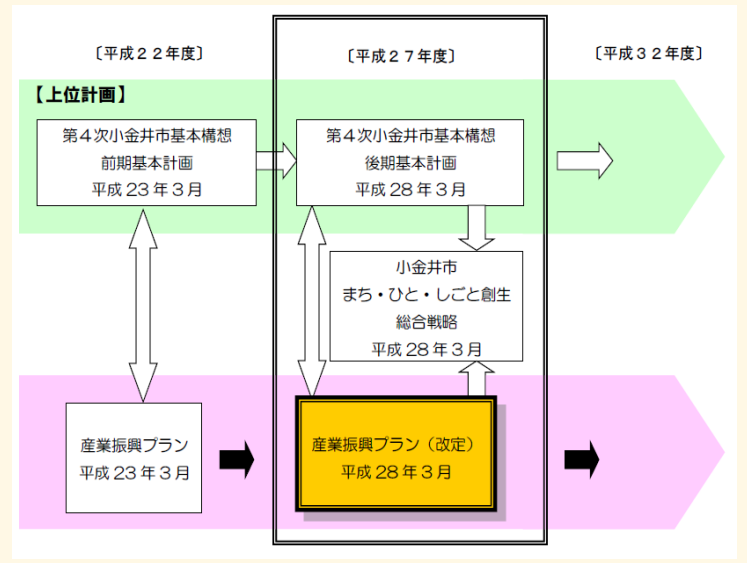
- **各事業に対する支援機能**
  - ・各事業運営組織による事業検討における企画調整、各種情報提供を行う。
  - ・事業を効果的に遂行できるよう市内活動者等の人材マッチングを行う。
  - ・イベントに限らない市内の様々な情報受発信を行う。
- **専門家等による助言機関においてPDCAサイクルを構築**

## 小金井市産業振興プラン 概要版

### 産業振興プランの位置づけ

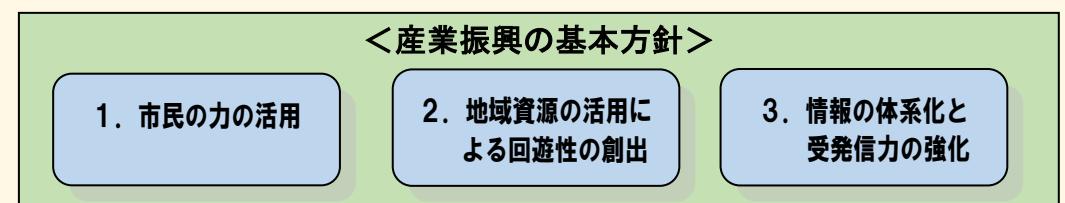
- 平成23年3月に策定された産業振興プラン（以下、現行プラン）は、市政運営の長期的、総合的指針になる「第4次基本構想・前期基本計画」を踏まえ、10年後の将来像を見通しながら10年間の産業の目指すべき方向と取り組みを整理するとともに、平成27年度までの前期5年間の基本計画を策定したものです。
- 策定時点と比較して、JR中央本線駅周辺の基盤整備の進展や本市の人口構成の変化など、本市の産業を取り巻く環境は急速に変化しており、こうした状況を踏まえて中間期の改定を行い、平成32年度までの後期5年間の基本計画を策定するものです。

小金井市の上位計画と産業振興プラン



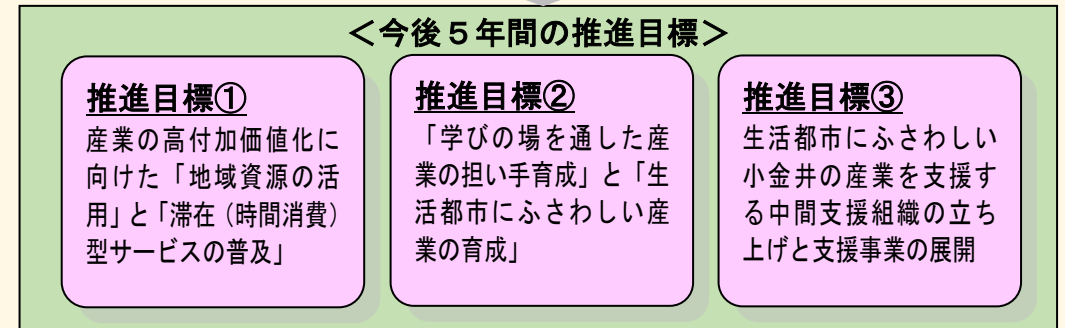
### 今後5年間の産業振興の推進目標

- 新たな推進目標として、産業の付加価値化に向けた「地域資源（人材資源、空間資源、自然資源等）の活用」と「滞在（時間消費）型サービスの普及」、「学びの場を通じた産業の担い手育成」と、「生活都市にふさわしい産業の育成」、それらの推進を強力に支援する「中間支援組織の立ち上げ」を掲げます。



- ＜今後5年間の産業振興に向けた取り組み方向＞
- 1 既存産業の付加価値を高める
  - 2 滞在時間の拡大を図る
  - 3 教育的環境の活用

- ＜現行プラン改定の方針＞
- 1) 生活都市としての産業振興の方向
  - 2) 新たに「コト消費」の視点を加えた推進目標や施策の再設定
  - 3) 新たな推進体制の整備



## 産業振興プランの目指す将来像

- 今後の必要な取り組みにより産業振興を図っていくためには、分野別の取り組みでは限界があり、分野間の連携やコラボレーションが必要不可欠なものとなっています。
- 今回の改定にあたっては、将来像及び基本方針は現行プランを引き継ぎつつ、前述の「今後5年間の推進目標」と「施策」について改定を行いました。

## 産業振興プランの目指す将来像

## ～多様で豊かな市民力による“黄金井ビジネス”の創造をめざして～

### 今後5年間の推進事業

- 「今後5年間の産業振興の推進目標」に合致する取り組みを推進事業として位置づけ支援します。

	施策内容	施策イメージ
連する施策 「(1)地域資源の活用」と「滞在(時間消費)型サービスの普及」による産業の高付加価値化に関する施策	①-1 地域資源の活用によるビジネスの付加価値拡大 ・小金井らしさを感じる地域資源を活用して、従来の事業の幅を拡大させる、新たな事業の立ち上げを図るなど、ビジネスの付加価値を高める取り組みを支援します。	1) 地域資源と事業者(商業、工業、農業)とのコラボレーション 2) 農的地域資源による高付加価値化 3) 都市型産業の育成・強化 4) 若手経営者や後継者の育成
	①-2 既存ストックの活用による産業創出 ・JR中央本線の高架に伴う高架下の空間や商店街における空き店舗といった既存ストックを活用し、商業をはじめとする産業集積を図る取り組みを支援します。 ・VPやKOTOを小金井版インキュベーションモデルとし、創業支援と創業事業者の市内定着の足掛かりとなる場の確保を図る取り組みを支援します。	1) 小金井版インキュベーションモデルの普及 2) 高架下・空き店舗・空き家の活用【新規】 3) 商店街振興モデル地区への支援
	①-3 滞在(時間消費)型サービスの普及と広域を含めた滞在時間の拡大 ・小金井市では、小金井公園や玉川上水の桜、はげの道、武蔵野公園をはじめとする散策資源や季節行事、黄金井名物市や黄金やをはじめとする商業販促活動など、滞在を促す機会が提供されています。 ・このような滞在を促す機会を連携させることで、市内及び広域での滞在時間の拡大を図り、最終的には市内における消費活動に結び付ける取り組みを支援します。	1) 地域資源を活かした体験型・参加型の場の提供 2) 市民が発掘した観光資源の活用【新規】 3) 既存事業・新規事業の連携による回遊性の創出 4) 広域連携事業の創出
する施策 「(2)学びの場を通じた産業の担い手育成」と「生活都市にふさわしい産業の育成」の推進に関する施策	②-1 学びを通じたビジネス機会の創出 ・小金井市には日本の教育の中核である東京学芸大学があり教育関連の特化係数が高い、東京都市部の中でも特許件数が多いという地域特性があります。このような地域特性を活かし、学びを通して地域課題の抽出や活動のきっかけづくりを進める取り組みを支援します。 ・ベッタウンとしての特性を活かし、職住近接の環境づくりを進めます。 ・今後活躍が期待できる「女性・学生等」の創業・起業支援を行います。 ・将来の創業につなげるため小中学生に創業につながる学びの場を作り、ビジネスを生み出す種とする取り組みを支援します。	1) 児童・生徒向けの将来の創業につながる学びの場の提供【新規】 2) 大学生のインターンシップ推進【新規】 3) 教育産業・クリエイティブ産業の育成・強化【新規】 4) 女性・学生等の創業・起業支援【新規】 5) 市民と民間事業者・大学との連携による新事業を考える場の提供【新規】
	②-2 課題解決を図るための生活関連ビジネスの推進 ・小金井らしいビジネスの育成に向けて、地域課題の解消を図る生活関連ビジネスに特化した創業・就業支援を行います。 ・支援にあたっては、商店街等の既存のコミュニティに新たな仕組みを組み込むことで地域にイノベーションをもたらす取り組みを重視します。	1) 生活関連(子育て、高齢者支援、地域コミュニティ形成等)型ビジネスの創出・推進【新規】 2) 地域課題の解消に特化した創業・就業機会の創出【新規】 3) 市民普請による小金井ライフスタイルのブランディング【新規】
に連する施策 「(3)中間支援組織の立ち上げと支援事業の展開」に関する施策	③-1 黄金井ビジネスの発展を支援する推進組織の再編 ・これまでの産業振興プランにおける各事業で観光案内人、市民レポーター、大学との連携が生まれ、人材のストックが構築されました。 ・今後は、各種団体、人材等を適切に結び合わせ、各種取り組みを推進させる中間支援的役割の強化が求められます。 ・そのため、現行の産業振興を推進する組織の再編強化を行います。	1) 中間支援機能の明確化によるビジネス推進の加速化【新規】 2) 各種人材、団体等の事業マッチング【新規】 3) アドバイザリーボードの設置【新規】
	③-2 産業振興情報受発信の強化 ・黄金井の里、観光協会においてホームページ整備、FacebookなどのSNSでの情報発信の整備を行って来ましたが、今後は市内の産業振興関連の各種情報、特徴的な取り組みの受発信の充実を図ります。	1) 小金井市の事業を含めた産業振興関連の情報の活用【新規】